

17. 肝 炎 対 策

肝炎対策は、平成18年度から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（平成10年法律第114号）に基づき保健所で肝炎ウイルス検査を実施している。また、フィブリノーゲン製剤問題を契機として、平成20年度から、緊急肝炎ウイルス検査を開始した。

肝炎の予防・早期発見の推進、肝炎医療の促進及び研究の推進等を基本的施策として「肝炎対策基本法」（平成21年法律第97号）が制定され、平成22年1月から施行された。

[1] 検査事業

(1) B型・C型肝炎ウイルス検査事業

池袋保健所では、平成18年11月から16歳以上の区民を対象にB型・C型肝炎ウイルス検査を実施している。また、20歳以上で平成14年度以降検査を受けたことがない方には、区内指定医療機関で豊島区B型・C型肝炎ウイルス検査を実施している。

□ B型・C型肝炎ウイルス検査（池袋保健所で実施）（単位：人）

年 度	受診者数	B型肝炎陽性者	C型肝炎陽性者
27	464	3	1
28	652	7	2
29	700	7	0
30	692	4	1
元	634	4	1

□ 豊島区B型・C型肝炎ウイルス検査（区内指定医療機関で実施）（単位：人）

年 度	受診者数	B型肝炎陽性者	C型肝炎陽性者
27	687	14	6
28	650	9	4
29	483	5	1
30	334	4	1
元	365	5	2

(2) B型・C型肝炎ウイルスに関する健康相談

B型肝炎ウイルス検査結果で陽性、又はC型肝炎ウイルスに感染している可能性が極めて高いと判断された者に対して、専門医療機関への受診や療養上の指導・相談・医療費助成の案内及び肝炎手帳の配布をしている。

□ 相談件数（単位：件）

区 分 年 度	相談件数	内 訳	
		面接	電話・文書
27	49	14	35
28	73	8	65
29	20	6	14
30	23	3	20
元	27	7	20

[2] 医療費助成

(1) B型・C型ウイルス肝炎医療費助成制度

国及び東京都では、B型・C型ウイルス肝炎の治癒を目的として、インターフェロン治療を必要とする方に対し医療費等を助成し負担軽減を図っており、区はその申請受付等の経由事務を担当している。

【肝炎対策の経過】

- 平成14年10月 1日：B・C型ウイルス肝炎入院医療費助成開始。
- 平成19年 9月30日：B・C型ウイルス肝炎入院医療費助成の新規受付終了。（3年の経過措置あり）
- 平成19年10月 1日：C型肝炎のインターフェロン治療医療費助成開始。
- 平成20年 4月 1日：B型肝炎のインターフェロン治療医療費助成開始。
- 平成22年 4月 1日：肝炎対策基本法施行。B型・C型ウイルス肝炎治療医療費助成制度が拡充。
- ・自己負担限度額の引下げ
 - ・B型ウイルス肝炎の核酸アナログ製剤治療を助成対象に追加
 - ・利用回数の制限緩和（C型肝炎インターフェロン治療で一定の要件を満たす場合、2回目の利用も可）
- 平成23年 9月26日：B型慢性肝炎のペグインターフェロン治療医療費助成及び、B型慢性肝炎のインターフェロンの2回目の利用が可能。
- 12月26日：C型慢性肝炎のペグインターフェロン・リバビリン・テラプレビル3剤併用療法（助成期間7か月・認定基準を満たした肝臓専門医療機関にて実施可）を1回のみ助成開始。
- 平成25年12月 4日：C型慢性肝炎のペグインターフェロン・リバビリン・シメプレビル3剤併用療法（助成期間7か月・認定基準を満たした肝臓専門医療機関にて実施可）を1回のみ助成開始。
- 平成26年 5月23日：B型慢性肝炎に対する核酸アナログ製剤治療の新薬（テノホビル ジソプロシキルフマル塩酸錠）の助成開始。
- 9月19日：C型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変に対するインターフェロンフリー治療（助成期間7か月・認定基準を満たした肝臓専門医療機関にて実施可）を助成開始。
- 9月19日：セログループ2のC型肝炎に対するペグインターフェロン、リバビリン及びテラプレビル3剤併用療法（助成期間7か月・認定基準を満たした肝臓専門医療機関にて実施可）を助成開始。
- 11月25日：C型慢性肝炎に対するペグインターフェロン、リバビリン及びパニプレビル3剤併用療法（助成期間：7か月）を助成開始。
- 12月15日：プロテアーゼ阻害剤再治療におけるプロテアーゼ阻害剤の順序制限が撤廃。
- 平成27年 3月20日：インターフェロン適格未治療例及び前治療再燃例に対するインターフェロンフリー治療（助成期間7か月）を助成開始。
- 6月 9日：インターフェロンフリー治療ソホスビル及びリバビリン併用療法（助成期間4か月）を助成開始。
- 9月10日：インターフェロンフリー治療レジパスビル／ソホスビル配合錠（助成期間4か月）を助成開始。
- 11月26日：インターフェロンフリー治療オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル配合剤（助成期間4か月）を助成開始。
- 12月 1日：インターフェロンフリー治療不成功後のインターフェロンフリー治療（再治療）を助成開始。
- 平成28年 9月28日：インターフェロンフリー治療（オムビタスビル水和物・パリタプレビル水和物・リトナビル配合剤及びリバビリン（レベトールカプセル200mgに限る。）併用療法）を助成開始。
- 11月18日：インターフェロンフリー治療（エルバスビル及びグラゾプレビル併用療法）を助成開始。
- 平成29年 2月15日：インターフェロンフリー治療（ダクラタスビル塩酸塩・アスナプレビル・ベクラブビル塩酸塩配合錠による治療）を助成開始。

- 2月25日：核酸アナログ製剤治療（テノホビル アラフェナミドフマル酸塩錠による治療）を助成開始。
- 4月19日：セログループ1（ジェノタイプ1）又はセログループ2（ジェノタイプ2）のいずれにも該当しない場合のインターフェロンフリー治療（ソホスブビル・リバビリン併用療法）を助成開始。
- 6月16日：B型慢性肝疾患に対する核酸アナログ製剤治療（エンテカビル水和物錠の後発品であるエンテカビル錠、下記の12種類）を助成開始。
- 11月22日：C型慢性肝炎及びChild-Pugh Aの代償性肝硬変に対するインターフェロンフリー治療（グレカプレビル水和物・ビブレンタスビル配合剤による治療）を助成開始。
- 平成30年 2月16日：セログループ2（ジェノタイプ2）のC型慢性肝炎及びChild-Pugh Aの代償性肝硬変に対するインターフェロンフリー治療（レジパスビル・ソホスブビル配合錠による治療）を助成開始。

□ B型・C型ウイルス肝炎治療医療費助成申請件数

（単位：件）

区 分 年 度		B型ウイルス肝炎治療 医療費助成		C型ウイルス肝炎治療医療費助成		
		インター フェロン 製剤治療	核酸 アナログ 製剤治療	インター フェロン 製剤治療	C型ウイルス肝炎ペグインター フェロン、リバビリン及び プロテアーゼ阻害剤3剤併用 療法（※）	インター フェロン フリー治療
27		2	119	2	1	150
28		3	143	0	0	88
29		5	164	0	0	53
30		3	152	0	0	47
元		3	158	0	0	32
内 訳	池 袋	3	120	0	0	23
	長 崎	0	38	0	0	9

（※）プロテアーゼ阻害剤とはテラプレビル・シメプレビル・バニプレビルの3剤を示す。件数については3剤の合計数

（2）身体障害者手帳

平成21年12月に身体障害者福祉法施行令及び身体障害者福祉法施行規則が改正になり、平成22年度から肝臓機能障害による身体障害者手帳の交付を開始した。
（身体障害者手帳の受付は障害福祉課で実施）